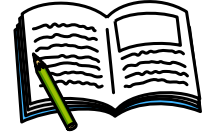


家庭学習の手引（5・6年生）

宇土市立走瀉小学校

1. 家庭学習の手順（は R5 年度にかわったところ）

- (1) 宿題・自主学習(予習・復習)等の学習する計画を立てて、取り組みましょう。
- (2) 帰宅後、早めに始めましょう。5・6年生の時間のめやすは、**60分～70分**です。
- (3) **正しい姿勢**で勉強しましょう。**鉛筆も正しく**持ちましょう。
- (4) **宿題と音読を毎日**しましょう。
- (5) 宿題が終わったら、**自主学習(予習・復習も入る)**に取り組みましょう。
- (6) 家庭学習が終わったら、**明日の準備**をしましょう。



2. 勉強のしかた

(1) 国語の勉強では…

- ①教科書の文を**ていねい**にノートに写す。
- ②**習った言葉**を使って、短い文を作る。
- ③**新しく習った漢字**や、**おぼえていない漢字**を練習する。
- ④**読書**をしたり、教科書を**音読**したりする。
- ⑤分からない言葉があったら、**辞書で調べる**。

(2) 算数の勉強では…

- ①数字は**正しい書き順**で書く。
- ②**図や数直線**を使って、式を書く。
- ③終わったら、**もう一度見直す**。
- ③**まちがえた問題は、もう一度やり直しできるまで繰り返す**。
- ④**応用問題**にも挑戦する。

(3) 予習・復習をしよう

学校での授業をより深く理解するためには、予習・復習は大切です。特に、復習が効果的です。どんなことをすればいいでしょう？ 例えば、次のような方法があります。

- ◎予習…**次の日に習うところ**を読みます。読むことで、授業で何を勉強するかを知ることができます。分からない部分があって当然です。そのようなところを授業で分かろうとすればよいのです。**声に出して読むと、より効果的**です。
- ◎復習…**授業で学習した内容**を家で振り返ります。ノートを読み返してみましょう。自分で「大丈夫だ、分かった」と思ったら「OK」などの印をつけていきます。



(4) タブレットの学習をしよう

学校からの課題やタイピングの練習等に取り組みましょう。また、タブレットは充電しておきましょう。

(5) 勉強が終わったら、学習したことを振り返ったり、お家の人に見てもらったりしましょう。

3. 自主学習に取り組もう！！

宿題の他に自分で工夫する勉強です。**得意なことは伸ばし、苦手なことは克服**していきましょう。「学校で学習して終わり」ではなく、それを生かしているいろいろなことに取り組むことが、これから大切になってきます。例えば、次のような方法があります。(あくまでも1つの例です。他にもたくさんあります。)

- 【国語】○教科書以外の本を音読したり、**興味をもった本**を読んだりする。
 - 習ったことに関する**言葉や漢字の意味、由来**について調べる。
 - 新聞や本など**を利用して、自分なりに新聞を書いてみる。
- 【社会】○**習った県や市町村以外**についても、同じように調べまとめてみる。
 - 歴史上の出来事**などについて、自分なりにイラストや図を書いてみる。
- 【算数】○広告を見て、どの店が安いのか、**単位量あたりの計算**を利用して比べてみる。
 - 面積・体積を求める公式**を利用し、身の回りのものの面積・体積を求める。
- 【理科】○**継続して身の回りの現象などを観察**し、変化を調べる。
 - 興味をもった生物や植物の絵**を描き、その特徴を知る。

キーワードは、『**継続は力なり**』です！